

今年は中部支部で2大会を運営する必要があり慌ただしい秋でした。  
最近、RMは集まりが悪く、練習もあまりできないまま大会に臨みました。  
とはいっても、昨年と同じ艇ですので、特に不安は無く故障が起きないように気をつけてメンテをしました。

初日は、雲ひとつ無い快晴で北の順風という、洲原では最高のコンディションでした。  
私はコンベンショナル（スループ）のCリグでスタートし、1，2レースは順調でしたが、少し風が落ち着き、Bリグに替えたのですが、これがあまり良くなく、途中で平尾氏や宗助氏に抜かれてしまいました。

原因は、岸よりのコースが良くなく、沖寄りが正解だったようで、修正するのに数レースかかりました。

午後は、徐々に風が落ち、コンベンショナルのAリグ～スイングのBリグとなりましたが、まだコンベンショナルリグに分があり、何とか走りきることができました。

二日目は、天気はよかったものの、ほぼ無風で風待ちから始まりました。  
何とかスタートしても風が続かず、スローペースのレースとなりました。  
フネをとめず、風を拾いながらのレースでしたが、関西の池島氏や関東の茂樹氏がよくフネを滑らせ、抜きつ、抜かれつのレースが続きました。  
このような微風では、やはりスイングリグが適しており、コンベンショナル専用の川本氏は苦戦を強いられたようです。

私と平尾氏は両方のリグが使えるようにしてありますので、風の強弱に適応しやすい長所があります。

このような両用の艇は、多少作るのが手間ですが、それなりの効果があり、世界的に見ても結構多いようです。

最後になりましたが、大会を運営、サポートしていただきました本部池田氏、石川氏、中部支部谷口氏、高利氏、高柳氏、遠路来られた選手諸氏、誠にありがとうございました、心よりお礼申し上げます。